

フレッシュ名曲コンサート

偉大なる楽聖!! あなたの**推し**は?!

“モーツァルト” vs “ベートーヴェン”

若手気鋭指揮者・**角田鋼亮**
アプリコ初登場!

ソロ・ファゴット奏者として注目を集める
保崎 佑

都響サウンドが織りなす重厚な「運命」

至福の時間をお届けします

曲 目

モーツァルト
歌劇《魔笛》序曲

モーツァルト
ファゴット協奏曲 変ロ長調 K.191(186e)

ベートーヴェン
交響曲第5番 ハ短調「運命」Op.67

出演者

指揮/角田鋼亮

ファゴット/保崎 佑(第21回東京音楽コンクール木管部門第1位、第19回第3位)

管弦楽/東京都交響楽団

LUDWIG VAN BEETHOVEN

WOLFGANG AMADEUS MOZART

指揮/角田鋼亮
©Makoto Kamiya

ファゴット/保崎 佑
© 猪狩健太郎

管弦楽/東京都交響楽団

2024 **11.9** ± 14:15開場 15:00開演

大田区民ホール・アプリコ 大ホール

JR京浜東北線・東急多摩川線・池上線「蒲田駅」東口から徒歩3分 / 京急「京急蒲田駅」西口から徒歩7分

全席指定(税込) S 3,000円 A 2,000円 中学生以下 1,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください ※車椅子席(4席)をご希望のお客様はお電話で窓口でお申込ください。

オンライン先行発売:2024年7月12日(金)12:00~

On
Line

オンラインチケット

※発売日から公演前日19:00まで座席をご予約いただけます
(残席がある場合)(24時間対応)

<https://www.ota-bunka.or.jp/>

電話予約発売:2024年7月16日(火)10:00~19:00

チケット専用電話 TEL:03-3750-1555

各館窓口販売発売:2024年7月17日(水)10:00~19:00

各館窓口/アプリコ、大田区民プラザ、文化の森



主催:



公益財団法人 大田区文化振興協会 / 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館

企画協力: 東京オーケストラ事業協同組合

ota_bunka

otabunkaart

大田区文化振興協会

otabunkaart

大田区文化振興協会チャンネル

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

ドイツの作曲家、ピアニスト。音楽史において極めて重要な作曲家の一人。作曲家にとって、命ともいえる聴覚を失いながらも数々の名曲を生み出しました。日本では「楽聖」とも呼ばれています。

生誕・没 1770年12月16日生誕-1827年3月26日永眠

星座 射手座

兄弟 3人兄弟の長男

職業 フリーランスを貫いた史上初の作曲家

性格 情熱的・短気・せっかち

作品の数 作品番号があるもの138曲

モーツァルトが最高傑作と評した作品をモデルにして、編成、楽章、調性まですべてモーツァルトと同じ作品を残している。
ピアノと管楽のみの五重奏曲 変ホ長調 Op.16。



角田鋼亮 (指揮)

Kosuke Tsunoda

東海高校卒業後、東京藝術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2002年、安宅賞受賞。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。2010年、第3回マーラー指揮コンクールにおいて最終の6人に残った。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管、ブランデンブルグ響、上海歌劇院管、札幌響、山響、仙台フィル、群馬響、N響、読響、都響、東響、東京フィル、日本フィル、新日本フィル、東京シティ・フィル、神奈川フィル、名古屋フィル、セントラル愛知響、中部フィル、愛知室内オケ、アンサンブル金沢、京響、大阪フィル、日本センチュリー響、大響、兵庫PAC、広響、九響と共演している。2015年よりセントラル愛知交響楽団の指揮者を務め、2019年より常任指揮者に就任。2016-2020年 大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者、2018-2022年 仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者を歴任するなど、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として各地にて活躍の場を拓いている。2024年4月より、セントラル愛知交響楽団音楽監督を務めている。

作曲家の豆雑学

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

18世紀に活躍した作曲家。ベートーヴェンやハイドンと並ぶ古典派音楽を代表する大家の一人です。35年間という短い生涯の間に合計626もの曲を作り、彼の残した名曲は当時大絶賛されただけでなく、今もなお後世に渡って広く人々から愛されています。

生誕・没 1756年1月27日生誕-1791年12月5日永眠

星座 水瓶座

兄弟 7人兄弟の末息子

職業 宮廷室内作曲家

性格 落ち着き深い・神経質・短気・破天荒

作品の数 600曲を超える

自分の作品の中で最高傑作と評している曲

ピアノと管楽のみの五重奏曲 変ホ長調 K.452



保崎 祐 (ファゴット)

Yu Hozaki

東京音楽大学大学院音楽研究科修士課程及び博士後期課程の全在籍期間を特待生として在籍し首席総代で修了。博士論文の研究が学術的に極めて優れていると評価され優秀賞を受賞し、2023年に日本初となるファゴットでの博士号(音楽)を取得する。また、同大学のアーティスト・ディプロマコース特別特待奨学生としても研鑽を積み、水谷上総特任教授に師事する。在学中、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト「カルメン」XVIに参加。瀬木芸術財団、ドイツ学術交流会の奨学生としてドイツへ留学し、フォルカー・テスマンのもとで研鑽を積み、マティアス・ラッツ、ソフィー・デルヴォー両氏のマスタークラスを受講する。第21回東京音楽コンクール木管部門第1位及び聴衆賞、第31回宝塚ベガ音楽コンクール第2位受賞。これまでにソリストとして新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団などと共演。また、東京・春・音楽祭出演やNHK交響楽団などのオーケストラへのエキストラ出演など、室内楽奏者、オーケストラ奏者としても活動している。2022年度、2023年度公益財団法人ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生。2018~2023年度一般財団法人福島育英会奨学生。現在、東京音楽大学助教。博士(音楽)。



東京都交響楽団

Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立(略称:都響)。歴代音楽監督は森正、渡邊曉雄、若杉弘、ガリー・ベルティニ。現在、大野和士が音楽監督、アラン・ギルバートが首席客演指揮者、小泉和裕が終身名誉指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者を務めている。定期演奏会を中心に、都内小中学生のための音楽鑑賞教室、青少年への音楽普及プログラム、多摩・島しょ地域での出張演奏、福祉施設への訪問演奏の他、2018年からは、誰もが音楽の楽しさを体感・表現できる「サラダ音楽祭」を開催するなど、多彩な活動を展開している。受賞歴に、「京都音楽賞大賞」(第6回)、インバル指揮『ショスタコーヴィチ:交響曲第4番』でレコード・アカデミー賞(交響曲部門)(第50回)、『インバル=都響 新・マーラー・ツィクルス』で同賞(特別部門:特別賞)(第53回)など。「首都東京の音楽大使」たる役割を担い、これまで欧米やアジアで公演を成功させ、国際的な評価を得ている。2015年11月には大野和士の指揮でヨーロッパ・ツアーを行い、各地で熱烈な喝采を浴びた。2021年7月に開催された東京2020オリンピック競技大会開会式では、『オリンピック讃歌』の演奏(大野和士指揮/録音)を務めた。

大田区民ホール・アプリコ

〒144-0052 東京都大田区蒲田5-37-3

TEL: 03-5744-1600 FAX: 03-5744-1599 <https://www.ota-bunka.or.jp/aprico>

JR京浜東北線 東急多摩川線・池上線「蒲田駅」東口から徒歩約3分
京浜急行線「京急蒲田駅」西口から徒歩約7分
駐車場: 区営アロマ地下駐車場 30分/200円

